

抗インフルエンザウイルス薬 適正使用に関するお願い

2018年8月
全星薬品工業株式会社

医療従事者の皆様へ (インフルエンザの患者さんへの注意喚起)

〈異常行動による転落等の事故を予防するためのお願い〉

インフルエンザの患者さんでは、抗インフルエンザウイルス薬の服用の有無や種類にかかわらず、異常行動に関連すると考えられる転落死等が報告されています。

異常行動

- ① 就学以降の小児・未成年者の男性で報告が多い（女性でも発現する）
- ② 発熱から2日間以内に発現することが多い

(異常行動の例)

- ・ 突然立ち上がって部屋から出ようとする
- ・ 興奮して窓を開けてベランダに出て、飛び降りようとする
- ・ 人に襲われる感覚を覚え、外に走り出す
- ・ 突然笑い出し、階段を駆け上がろうとする
- ・ 自宅から出て外を歩いていて、話しかけても反応しない
- ・ 変なことを言い出し、泣きながら部屋の中を動き回る など

事故を防止するために

発熱から少なくとも2日間は、就寝中を含め、特に小児・未成年者が容易に住居外へ飛び出さないために、例えば、以下のような具体的な対策を講じるよう、保護者の方にご説明ください。

- ・ 玄関や全ての部屋の窓を確実に施錠する（内鍵、チェーンロック、補助鍵がある場合は、その活用を含む）
- ・ ベランダに面していない部屋で寝かせる
- ・ 窓に格子のある部屋がある場合は、その部屋で寝かせる
- ・ 一戸建てにお住まいの場合は、できる限り1階で寝かせる

(参照) タミフルと異常行動等の関連に係る報告書

(<https://www.mhlw.go.jp/content/11121000/000341848.pdf>)

アマンタジン塩酸塩錠 50mg・100mg「ZE」を服用される
インフルエンザの患者さん・ご家族・周囲の方々へ

インフルエンザにかかった時は、飛び降りなどの異常行動をおこす
おそれがあります。（特に発熱から2日間は要注意！）
窓の鍵を確実にかけるなど、異常行動に備えた対策を徹底してください。

〈異常行動による転落等の事故を予防するためのお願い〉

- インフルエンザの患者さんでは、抗インフルエンザウイルス薬の服用の有無や種類にかかわらず、異常行動に関連すると考えられる転落死等が報告されています。
- 異常行動は、
 - ①就学以降の小児・未成年者の男性で報告が多い（女性でも発現する）
 - ②発熱から2日間以内に発現することが多いことが知られています。


（異常行動の例）


- ・ 突然立ち上がって部屋から出ようとする
 - ・ 興奮して窓を開けてベランダに出て、飛び降りようとする
 - ・ 人に襲われる感覚を覚え、外に走り出す
 - ・ 突然笑い出し、階段を駆け上がろうとする
 - ・ 自宅から出て外を歩いていて、話しかけても反応しない
 - ・ 変なことを言い出し、泣きながら部屋の中を動き回る など
- 万が一の転落等の事故を防止するため、発熱から少なくとも2日間は、就寝中を含め、特に小児・未成年者が容易に住居外へ飛び出さないために、例えば、以下のような対策を講じてください。

- ・ 玄関や全ての部屋の窓を確実に施錠する（内鍵、チェーンロック、補助鍵がある場合は、その活用を含む）
- ・ ベランダに面していない部屋で寝かせる
- ・ 窓に格子のある部屋がある場合は、その部屋で寝かせる
- ・ 一戸建てにお住まいの場合は、できる限り1階で寝かせる

その他、何か気になることがあれば医師、薬剤師にご相談ください。

連絡先（医療機関・薬局）

 全星薬品株式会社

 全星薬品工業株式会社